

## 岡崎の市町村合併による文化の発酵と発信の場の設計

### Design of a place for fermentation and dissemination of culture through the merger of municipalities

佐藤信治<sup>1</sup>, ○園田悠太<sup>2</sup>

Shinzi Sato<sup>1</sup>, \*Yuta Sonoda<sup>2</sup>

In today's regional cities, municipalities are expanding through the merger of municipalities with the aim of improving the efficiency of administrative and financial management and strengthening their foundations. However, due to this influence, even though they are in the same city, they may not know the culture and characteristics of the neighboring districts. As a result, there is a shortage of successors such as festival culture, and culture is disappearing. This proposal is a plan for cultural fermentation and dissemination in rural suburban cities where such municipalities have expanded and become unfamiliar with each other's districts, and as a result, their culture is disappearing.

#### 1 はじめに

現在の地方都市では行財政運営の効率化やその基盤の強化などを目的とし、市町村合併により市町村の拡大が進んでいる。しかし、その影響により同じ市にしながら近隣の地区の文化や特色について知らないということがある。それにより祭り文化などの後継者が不足し、文化がなくなりつつある。

本提案はそのような市町村合併により拡大が進みお互いの地区を知らなくなり、その結果として文化が消えようとしている地方郊外都市の文化発酵・発信の地の計画である。

#### 2, 設計背景

愛知県岡崎市、ここは明治22年の岡崎町が市町村合併を繰り返し平成18年の額田郡合併によって現在の形へと変化してきた。しかしもともとは小さな村、町であったため各地域に特色ある祭りや風習が残る。



図2-5 合併による市域の拡大

Figure.1 Merger of Okazaki City<sup>[1]</sup>

#### 3, 各町の祭りや風習

須賀神社大祭(額田郡)や能見神明宮大祭(広幡町)、矢作神社大祭など各町が山車を所有し、町を駆け巡る祭り。六ツ美悠紀斎田お田植えまつり(六ツ美町)むらさき麦まつり(藤川町)などの一年の豊作を願う祭り。

六ツ美悠紀斎田お田植えまつり(六ツ美町)むらさき麦まつり(藤川町)などの一年の豊作を願う祭り。



Figure.2 Rokutsumi Yuki Saita Rice Planting Festival<sup>[1]</sup>

Figure.3 Rokutsumi Yuki Saita Rice Planting Festival<sup>[1]</sup>

岡崎市花火大会(岡崎町)菅生手筒花火(岡崎町)天満天神祭手筒花火(岩津町)滝山寺(常盤村)などの花火関連の祭り。花火は軍事用の火術が観賞用に変化したもので一揆や反乱を抑えるために徳川は製造貯蔵を三河地方飲みに制限したため、現在でもトップレベルの技術を誇り多くの人が訪れる市の祭りのほかに各町内で行う祭りがある。<sup>[2]</sup>



Figure.4 Sugo Tetsutsu Fireworks<sup>[1]</sup>

#### 4. 計画敷地

敷地は市の中心部であり、様々なイベントに使用されており、かつては岡崎の水上交通で活躍した乙川河川敷とする。岡崎城が岡崎の歴史を語る塔であると定義すると本提案は現在の岡崎の各地域の文化を発酵、発信する塔となり、岡崎城と共に今後の岡崎の景色となる。

1: 日大理工・教員・海建 Department of Oceanic Architecture and Engineering College of science and Technology, Nihon University

2: 日大理工・学生・海建 Department of Oceanic Architecture and Engineering College of science and Technology, Nihon University



Figure 5.5 Site Map<sup>[3]</sup>

## 5. 建築計画

### 5. 1 文化塔概念図

文化塔はそれぞれの地域の文化を発信する場が集結した場と常に新たな文化を創り出す場に分かれる。今ある地域文化が集結することで文化塔を通して市民が一体化しながら文化を発信すると同時に文化を創り出す場にもなり、新旧の文化が混ざり合うことで新たな岡崎の文化を創り出す。

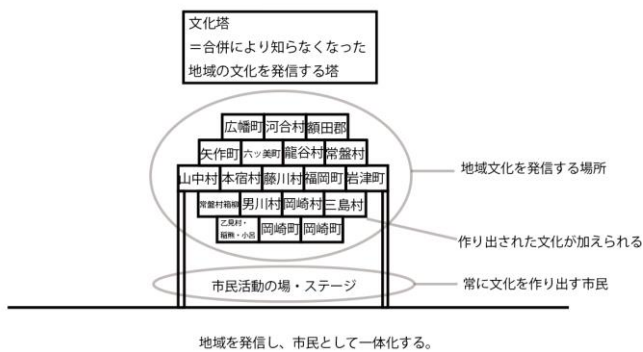


Figure 6 Conceptual diagram

### 5. 2 一体化する空間

地域文化は地域住民だけで維持できなくなっており、市民と一体化しながら後継者を維持していく必要がある。一体化する空間として祭礼空間を分析する。祭りの空間は複数の集団が、同じルールを共有して数キロ歩き老若男女と一緒に歩いて一体となる空間であり、これを市民が一体となって文化を発信する文化塔の空間に反映させる。

### 5. 3 祭礼空間の概念

#### ① 巡りの場

神輿や山車の巡礼によって顕在化するまとまりや巡行を支える場

#### ② 見せ場

神輿や山車の特徴的なパフォーマンスが見られる場

#### ③ 伝える場

祭りの技術や価値を伝承する場

#### ④ 祝祭景

視覚的・認識的に顕在化する周辺環境との結びつき

## 5. 4 導入機能

### 5. 4. 1 山車展示

須賀神社大祭、能見神明宮、矢作神社例大祭など各町内が山車を所有する祭りが点在する。しかし、普段は倉庫に収納されており、身近に文化を感じられないため文化塔に山車の展示場所を設ける。

### 5. 4. 2 祭りばやし教室

若い世代が地域にいなくなり、伝統的な踊り文化を地域内で継承できなくなりつつあるため外部の人も体験できる施設を設け継承していく場を設ける。

### 5. 4. 3 花火体験、工房

トップレベルの技術を誇る花火技術の継承と体験の場を持たせ、設け継承していく場を設ける。

### 5. 4. 4 レストラン

田畑が広がる六ツ美町、藤川町でとれたものを使ってそれらの農業伝統文化を継承する場とする。

### 5. 4. 5 各寺院でのイベント後の展示空間

六所神社や岩津天神宮では年中様々な催し物が開催されている。しかし、それらは開催後は形として残らない。そこで文化塔に展示空間を作り催し物の様子を岡崎の文化として発信する。

これらを各地域別に配置し、文化塔にする。塔をめぐることで岡崎の文化を体験できる。他の地域や市外からの訪問者も交わりながら地方郊外の文化を継承する拠点となる。

### 5. 4. 6 イベントステージ

現在も計画敷地は花火大会や家康行列をはじめ様々なイベントが開催される場所となっている。それらのイベントを開催することや日常的に市民がイベントを開催できるスペースとして、イベントステージを計画する。ここで生まれた文化が適宜、文化塔に反映されることで岡崎の新たな文化が誕生する場所にもなる。

## 参考文献

[1] 歴史と文化の薫るまち 岡崎市ホームページ

<https://www.city.okazaki.lg.jp/910/924/p020598.html>

[2] 野沢伸平「愛知県の歴史散歩 下 三河」、山川出版、pp.4~48、2005

[3] 国土地理院地図より作成

<https://maps.gsi.go.jp/#16/34.956070/137.165111/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1g1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f1>